

### 3-9 短期大学部門検討会議

本会議は、短期大学固有の情報環境に関する問題や教育方法の問題を研究討議するため、加盟短期大学関係者が参集し、教育方法の改善、授業内容の充実に向けて意見交換を行い、短期大学教育の質的向上に寄与することを目的とし、平成13年度で第9回目の会議となった。

#### (1) 開催要項の決定

運営委員会では、平成12年度と同様、短期大学における教育方法の改善、授業内容の問題を研究討議するため、教育に情報技術を活用している事例を紹介することとした。事例紹介者の選定は、平成12年度に実施した「情報機器を使用した授業に関するアンケート」や、教育方法研究発表会の発表者、私情協大会事例発表者等を対象に行い、各分野の専門授業にマルチメディアをどのように取り入れることが授業改善に効果的であるのか発表いただくとともに、事例紹介を踏まえて教育方法のあり方について討議することとし、以下のとおり開催要項を決定した。

#### 第9回短期大学部門検討会議開催要項

【開催期日】平成13年6月23日（土）午後1時30分～午後5時

【開催場所】追手門学院大学

#### I. 開催目的

本会議は、短期大学の授業改善を促進するため、短期大学関係者が参集し、情報技術を活用した学系別の授業方法について活用事例を中心に情報交換を行い、教育効果の面から検証し、短期大学教育の質的向上に寄与することを目的とする。

#### II. 開催趣旨

今、短期大学の2年間という教育期間の中で、密度の濃い分かりやすい授業を展開し、個々の学生に確かな能力を身に付けさせることが求められている。効果的な授業を展開するための一方策として、情報機器の活用が挙げられる。情報機器を活用することにより、従来の板書だけの講義では得られない情報や教材を学生に提示する、教室外での学習を可能にするなど、新しい形の授業を展開して、学生の理解を促進し、授業への参加意識を高め、学習意欲の向上を図ることが期待できる。

本年度は、各分野の専門授業にマルチメディアをどのように取り入れること

が授業改善に効果的であるのか、情報交換を行い、望ましい教育の情報化について理解を深めるため、事例紹介を踏まえて教育方法のあり方、課題について研究討議することとした。また、高度な情報技術を持たなくとも、教員が情報機器を活用して授業を進めていくことができるような事例を紹介し、今後の短期大学教育の方向性を探る。

#### IV. 会議の進め方

会議は、事例紹介、質疑応答により行う。

13:30【開会】挨拶 社団法人私立大学情報教育協会 会長

13:35【事例紹介】

1. 情報機器を活用した授業 —「文学」を中心に—  
大阪青山短期大学 幼児教育科講師 三木 恵子 氏
- 14:00 2. インターネットを活用した異文化理解と英語習得を目指した授業  
徳山女子短期大学 経営情報学科助教授 田中 数恵 氏
- 14:25 3. コンピュータを使用したファッションデザイン実習  
夙川学院短期大学 家政学科助教授 橘 喬子 氏
- 14:50 休憩
- 15:10 4. ハズブロによるモノづくりとデジタルポートフォリオ作成を取り入れた情報教育  
東京家政学院筑波女子短期大学部 情報処理科助教授  
余田義彦氏
- 15:35 5. インタラクティブなネットワーク教材の活用と今後の課題  
青葉学園短期大学 家政科 宮本 美登里 氏
- 16:00 質疑応答

#### (2) 開催結果および次回への準備

参加は、昨年に比べ3短期大学増2名減の、34短期大学58名となった。

なお、開催概要は巻末の資料編【資料11】を参照されたい。

その後、運営委員会では、参加者のアンケートを参考にしながら14年度の開催方針を検討した結果、事例発表は従来どおりとし、短期大学教育の中で情報技術を活用した教育事例について事例紹介を行うことに決定した。